

# 平成29年度 介護職員処遇改善加算の概要

平成29年4月より、介護職員処遇改善加算の改定が行われ、現状の4段階から5段階へ変更されます。

介護職員処遇改善加算Ⅰ  
介護職員処遇改善加算Ⅱ  
介護職員処遇改善加算Ⅲ  
介護職員処遇改善加算Ⅳ

改定後

介護職員処遇改善加算Ⅰ  
(新設)  
介護職員処遇改善加算Ⅱ  
介護職員処遇改善加算Ⅲ  
介護職員処遇改善加算Ⅳ  
介護職員処遇改善加算Ⅴ

現行より上位に新たに加算Ⅰを新設し、現行のⅠがⅡへ、ⅡがⅢへとそれぞれ変更されます。  
本改訂により、加算率の見直しも行われております。

	加算率（現行）	加算率（新設）
処遇改善加算Ⅰ		5. 9%
処遇改善加算Ⅱ	4. 0%	4. 3%
処遇改善加算Ⅲ	2. 2%	2. 3%
処遇改善加算Ⅳ	Ⅲ（現行のⅡ）の90%	Ⅲの90%
処遇改善加算Ⅴ	Ⅲ（現行のⅡ）の80%	Ⅲの90%

## 介護職員処遇改善加算の取得には当たり前ですが、条件があります。

### ①キャリアパス要件Ⅰ

職位・職責・職務内容等に応じた任用要件と賃金体系を整備すること

### ②キャリアパス要件Ⅱ

資質向上のための計画を策定して研修の実施又は研修の機会を確保すること

### ③キャリアパス要件Ⅲ（新設）

経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組みを設けること

### ④職場環境要件

賃金改善以外の処遇改善を実施すること

※就業規則等の明確な書面での整備・全ての介護職員への周知を含む。

**処遇改善加算Ⅰ：①～④までを全て満たす。**

**処遇改善加算Ⅱ：①及び②、④を満たす。**

**処遇改善加算Ⅲ：①又は②、④を満たす。**

**処遇改善加算Ⅳ：①、②、④のいずれかを満たす。**

**処遇改善加算Ⅴ：いずれも満たさない。**

経験「**若しくは**」資格等に応じて昇給する仕組み「**又は**」一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組みを設ける事。とあります。

キャリアパス要件Ⅲの取得ポイントは以下3点と読み解けます。

- ①**経験に応じた昇給制度**
  - ②**資格を評価した昇給制度**
  - ③**定期的に昇給を判定する仕組みを設ける事。**
- 上記いずれか1つ以上の要件を満たす事。**

# ①経験に応じた昇給制度

基本支給賃金																	
経験	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳
0年	180,000	181,260	182,529	183,807	185,093	186,389	187,694	189,007	190,330	191,663	193,004	194,355	195,327	196,304	197,285	198,272	199,263
1年	-	183,073	184,354	185,645	186,944	188,253	189,570	190,897	192,234	193,579	194,934	196,299	197,280	198,267	199,258	200,255	201,256
2年	-	-	186,198	187,501	188,814	190,135	191,466	192,806	194,156	195,515	196,884	198,262	199,253	200,250	201,251	202,257	203,268
3年	-	-	-	188,814	190,135	191,466	192,806	194,156	195,515	196,884	198,262	199,650	200,648	201,651	202,660	203,673	204,691
4年	-	-	-	-	191,466	192,806	194,156	195,515	196,884	198,262	199,650	201,047	202,053	203,063	204,078	205,099	206,124
5年	-	-	-	-	-	194,156	195,515	196,884	198,262	199,650	201,047	202,455	203,467	204,484	205,507	206,534	207,567
6年	-	-	-	-	-	-	196,493	197,868	199,253	200,648	202,053	203,467	204,484	205,507	206,534	207,567	208,605
7年	-	-	-	-	-	-	-	198,858	200,250	201,651	203,063	204,484	205,507	206,534	207,567	208,605	209,648
8年	-	-	-	-	-	-	-	-	200,650	202,055	203,469	204,893	205,918	206,947	207,982	209,022	210,067
9年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	202,459	203,876	205,303	206,330	207,361	208,398	209,440	210,487
10年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	204,080	205,508	206,536	207,569	208,606	209,649	210,698

## 年齢と経験に応じた昇給表の一例

## ②資格を評価した昇給制度

### 評価できる資格一例

	社員手当	パート手当
1. ヘルパー2級	1,000円	5円
2. ヘルパー1級	2,000円	11円
3. 介護職員基礎研修	3,000円	17円
4. 介護職員初任者研修	1,000円	5円
5. 実務者研修	6,000円	34円
6. 介護福祉士	10,000円	56円
7. 社会福祉士	10,000円	56円
8. 社会福祉主事任用	10,000円	56円
9. 精神保健福祉士	10,000円	56円
10. 介護支援専門員	20,000円	113円
11. 認知症介護実践者研修 等々	5,000円	28円



# ③定期的に昇給を判定する仕組みづくりの一例。

職業能力評価基準			
職位・等級	一般職	指導職	監督職
仕事の種類	1等級	2等級	3等級
送迎 (地域密着型通所介護)	<p>○送迎する利用者に係るルート、場所、時間、留意事項等、送迎に必要な事項を理解し、運行することができる。</p> <p>○利用者を身体状況に応じて介助することができる。</p> <p>○挨拶ができる。</p>	<p>○利用者の安全・安心を考慮して車両の運行を指導することができる。</p> <p>○利用者の身体状況に応じた移動介助を指導することができる。</p> <p>○送迎時、ご家族に1日の様子を報告することができる。又、一般職に指導することができる。</p> <p>○上記業務について会議等で改善の提案することができる。</p>	<p>○送迎業務全般を把握し、必要な管理、指示をすることができる。</p>
食事介助 (地域密着型通所介護)	<p>○衛生面に気を付けて、手指消毒を行うことができる。</p> <p>○利用者に合わせた配膳(食器の位置、お箸・スプーン、フォークなど)の準備をすることができる。</p> <p>○利用者の身体状況に合わせて食事形態(刻み食、ペースト、とろみなど)を変更し、食べやすくできる。</p> <p>○なるべく自力で食べることができるような配慮をし、必要時に適切な介助を行うことができる。</p> <p>○摂取量、食事中的様子を記することができる。</p> <p>○食事後、口腔ケアを行うことができる。</p>	<p>○食事の準備について、一般職に適切な指導を行うことができる。</p> <p>○利用者が安全・安心に食事できるように座位の安定を確認する。又、嚥下力を高めるために嚥下体操を実践。又、指導することができる。</p> <p>○利用者の摂取状況を把握し、利用者が摂取しやすい食事形態の変更をご家族・ケアマネジャーに提案できる。</p> <p>○利用者様の身体状況に合わせた口腔ケアを指導することができる。</p> <p>○食事の記録について記入方法を指導することができる。</p> <p>○上記業務について会議等で改善の提案をすることができる。</p>	<p>○食事介助業務全般を把握し、必要な管理、指示をすることができる。</p>

**前述の①～③の内、1つ以上の仕組みづくりで処遇改善加算Ⅰ（新設）の算定が可能と考えられる。**

**※就業規則への追記、職員への周知も合わせてお願いします。**

**前ページの内容に追加してキャリアパス要件Ⅰ及びⅡの取得が必要になります。**

**①主任介護職員・副主任介護職員・一般介護職員等の職責や職務内容の設定。**

**②研修計画の策定及び研修の実施記録。**

**※同じく就業規則への追記、職員への周知も合わせてお願い致します。**

実地指導において、キャリアパス要件Ⅰ、Ⅱが満たされていない事業所も見受けられます。

- ・職員の研修計画はあるが、実施記録が無い。
- ・職責に応じた賃金を支給していない。

等で指導を受ける事も御座いますので、今一度要件を再確認いただき、事業運営に生かしていただければと存じます。